

第3回 河合橋デザイン検討会議 摘録

日 時：平成 29 年 12 月 8 日（金）19:00～21:00

場 所：職員会館 かもがわ 2階 大会議室

出席者：委員 9 名（1 名欠席）

記 者：2 名

傍聴者：3 名

1. 開 会

2. 議事内容

（１）デザインコンセプトについて

【事務局より、委員から頂いた意見を反映したデザインコンセプトの再確認】

デザインコンセプト

- ・歴史と文化を継承し、参道・玄関にふさわしいデザイン
- ・さまざまな出会いの場を安全につなげるデザイン
- ・取り巻く風景と調和し、橋の内と外から見られることを意識したデザイン

（２）部材のデザインポイントについて

○ブラケット（支持具）前回継続検討事項

【事務局より、資料、模型を用いて説明】

（議長）

- ・「A案」と「B案」の差がわかりにくいので、説明をお願い致します。

（事務局）

- ・A案, B案について、模型で見ていただければと思います。
- ・A案については、橋桁の下までブラケットをつけた形状、B案については、主桁部のブラケットの形状をそのままに長さを変えたものです。B案については、桁の下の部分に空きができます。
- ・拡幅部にブラケットを付けた方がいいのか付けない方がいいのかを含めて、議論していただければと思います。
- ・また、前回会議で提案のあった材質にアルミ材を使用する件ですが、主桁が鉄でブラケットをアルミした場合に塗装の色合いが合わないこと、初期費用がアルミの方が高価であることより、材質は鉄で行こうと考えています。重さの問題は、ブラケットの鋼材の厚さを薄くして対応します。

（議長）

- ・ブラケットを拡幅部まで延長して調和を取れたものにするか、模型で付けたものと付けないものを見て、どちらがよろしいかということでしょうか。
- ・確かに差がわかりにくいですね。

（事務局）

・微妙な差です。

(議長)

・本体は、主桁の下まで付いているのですね。

・本体と合わせた方がいいと思います。角度の差もあまり気になりませんね。

(委員)

・見える角度が違ってきます。向こう側も同じ様に付くのですね。

(事務局)

・はい。

(議長)

・拡幅部にもつけた方がいいような気がしますね。

・現状では、拡幅部(ブラケットが付いていない)が目立って仕方が無いです。

・一体感が無いです。

(委員)

・A案に戻してもらえますか。

(議長)

・間隔が主桁と較べて広がっているように思いますが。

(事務局)

・同じです。石製高欄の縦のラインに合わせています。

(委員)

・ブラケットの側面には、模型にはありませんがボルトが付いていて、遊歩道の上にある拡幅部のブラケットは、ボルトが見えてしまう。

(委員)

・このブラケットに機能はあるのでしょうか。ただ見た目だけのものですか。

(事務局)

・機能はありません。

(議長)

・橋の一体感としては、ある方が良くのではないかと思います。

・拡幅部が取って付けた様に見えますね。現状はそうなのですが。

(委員)

・拡幅部分の最初の1枚だけ抜くというのも考えてはどうでしょうか。

(委員)

・それがちょっと気になりますね。角度が急に変わりますからね。

(委員)

・拡幅部の面の急な変化を避ける必要があります。

(議長)

・拡幅部のブラケットは、機能上は要らない訳ですけど、全体的に新しくしたという感じを出すには、あれば良いのではないかと思います。拡幅部の角度が変わりますので、ブラケットの角度が変わるという点が問題になるかと思っています。ご意見をお願いします。

(委員)

- ・拡幅部の一番手前の1枚を抜くだけで、違和感がなくなるような気がします。

(議長)

- ・歯抜けになることと、角度が変わること、どちらが自然に認識できるかですね。

(委員)

- ・2～3年経ってくると汚れてきます。スチールで施工するので、どうしてもサビが出たりしますので、面としてはあまり大きくない方が良いでしょう。三角州等の視点場から見た時に変化が有ると思います。大変微妙な所だと思います。

(議長)

- ・皆さんは如何でしょうか。

(委員)

- ・下から覗き上げると構造がよく判って、橋を見る一つの醍醐味でもあると思います。
- ・河川敷を歩いて上を見上げる人が多いと思いますが、そうすると委員が先程おっしゃったように、ブラケットの角度が急激に変わるのでちょっと気になります。ただ、1枚だけ抜くとそこだけ落ちたのではないかなと思われても困ります。初めの1枚だけ角度を微妙に変えてはどうでしょうか。構造体でなくデザイン要素なので、視覚的に急激に角度が変わってない様に見える程度に。要するに、今抜いた1枚分の角度を変えるだけで、縦のブラケットの連続性がスムーズに伝わるのではないかと思います。
- ・このブラケットは、上を支えていないので、視覚的なアプローチで、目で見ても違和感の無い形で連続性を実現するというのはどうでしょうか。

(議長)

- ・桁の角度との、中間の角度としてはどうか。飾りですから可能ですよね。
- ・折衷案をご提案頂きました。

(委員)

- ・1枚だけです。

(議長)

- ・角度を付けるのは、いいアイデアかもしれませんね。

(委員)

- ・その場合、間隔はどうしますか。

(委員)

- ・同じです。
- ・今の間隔のままで、コンセプトで上の高欄の縦のラインと揃っている状態で、本当に微妙な角度の調整になると思います。恐らく2枚目からは違和感なく見られるので、中間位を狙えばそれ程問題はないと思います。
- ・形状については、A案かB案のどちらにしますか。

(議長)

- ・本体の方が主桁の下までの構造ですので、A案の方が違和感が無くていいのではないかと思います。
- ・統一性、連続性の問題なのでA案で如何でしょうか。

○車両用防護柵手摺について

【事務局より、資料を用いて説明】

(議長)

・手摺兼用ですね。手摺として十分に使っていただけるということです。

(委員)

・照明が付かないところは、丸いだけでしょうか。

(議長)

・照明があるところを握ったら、照明が壊れてしまうということは無いですか。

(事務局)

・照明カバーで同じ様な形状で丸くしております。LED なので、触れたとしてもそれ程熱くはありません。

(議長)

・手すり照明の長さはどの位でしょうか。

(事務局)

・防護柵の支柱の間隔の 2m の内、1m が光る部分になります。それを 1 スパンおきに設置します。

(議長)

・照明の色合いはどうなりますか。出来るだけ明るい方が良いでしょうか。

(事務局)

・白色ではなく、明るい暖色系を考えています。

(議長)

・歩くところを照らすので白色でも良い様な気がします。出来るだけ明るい方がいいのでは。

(委員)

・灯籠の照明の色と合わせることは可能でしょうか。

(事務局)

・灯籠の色と合わせる形で考えています。

(議長)

・一つ飛ばしでも歩くのには、十分な明るさがあるということでしょうか。手摺の色は防護柵と同じなのでしょう。

(事務局)

・グレーベージュとなります。

○歩車道の境界部について

【事務局より、資料を用いて説明】

(議長)

・通常、車道の端に白線が引いてあるが、河合橋には無いですね。

(事務局)

・車道の端には自転車の走行帯のマークが入ります。

(議長)

・運転していても、車道の端に白線があると運転がしやすいです。幅の間隔の目安になります。それが無

いとなると、歩車道の境界部を白線の代わりに白いコンクリート仕上げにしてもいいかもしれません。

(委員)

- ・A 案が非常にわかりやすくいいと思いますが、橋との調和を考えた時に折衷案で B 案なのかなと思いました。C 案に関しては危ないと感じます。

(議長)

- ・道路の規則で、路側帯の白線については、決まりがあるのではないかな。

(委員)

- ・歩車道の境界部に段差があれば白線を引かなくても大丈夫だと思います。この間、見せて頂いた歩道のサンプルはかなり白っぽいものでした。画面よりも出来上がりは非常に白いイメージで出来ると思います。明らかに色が違いますので、あの細い幅の部分だけどうするのかということです。B 案の白っぽいものにしますと、歩道と殆ど同じ色調になりますので一体のものとして見えてきます。C 案の色を落とすと、違うデザインになりますので歩道から見ると境界が明解になるかもしれません。デザインに変化を与えようと思うと、境界の端の部分より黒くする方が変化が出るかもしれません。

(議長)

- ・歩く人からすると、防護柵もありますから向こうには出られないので、車から見た安全性が重要だと思います。

(委員)

- ・反対側の歩道の側面を見ていると腹の部分が見えます。車を運転する場合は、平面部よりも側面が目立つのではないのでしょうか。御影石調であれば白くてはっきりしたラインになると思います。

(議長)

- ・A 案は、白く塗るのでしょうか。

(事務局)

- ・コンクリートのままです。

(委員)

- ・9ページは、御影石調ですね。側面から見ると面積が大きいです。

(議長)

- ・白線を引くのは、ちょっと違和感がありますね。

(委員)

- ・B 案は一体として見えますよね。出来上がりはほとんど差がないのでしょうか。

(議長)

- ・そうすると B 案ということでしょうか。

(委員)

- ・B 案で問題ないと思います。C 案でもどちらでも好みの問題かと思います。

(議長)

- ・B 案でよろしいでしょうか。

○灯籠について

【事務局より、資料を用いて説明】

(議長)

- ・まずは色についてご議論を頂きたいと思います。
- ・賀茂大橋と同じ色目(B案)がいいかと思います。C案は冷たい感じがしますし、A案は赤々とし過ぎている感じもあります。

(委員)

- ・B案で賛成です。

(委員)

- ・A案の色は、LEDで可能でしょうか。

(事務局)

- ・大丈夫だと思います。

(委員)

- ・北大路橋も同じ色と思います。

(議長)

- ・賀茂大橋と同じ色で統一させて頂くということによろしいでしょうか。
- ・中間柱に灯籠を設置するかについてですが、ご覧の様に夜になったら足元の照明は薄っすらと出ていますが、灯籠がないとやはり荘厳する、飾るというのは違います。
- ・東京では2020年までにすべての橋をライトアップして、皆さんを迎えようという動きもあります。やはり、灯りがある方が賑やかで良いのではないかと思います。

(委員)

- ・昼間の時の写真をお願いします。
- ・車線数は賀茂大橋と一緒にしょうか、2車線と4車線とで違いますよね。
- ・道路と同じもう少し上の視点(出町柳の駅の方向)から見ると、両側の照明が重なって見えます。その影響も考えておいた方がいいかと思います。
- ・幅員が狭いので、全部が映り込んで照明柱が一度に沢山見えてしまいます。武田五一の設計意図というのが残っていないので詳しくは判りませんが、賀茂大橋の高欄の棧は非常にシンプルなもので、借景であるかのように森が大きく美しく見えるようにしています。中間柱は少し大きいですがリズムがあり、森を阻害することがありません。
- ・B案は、実際に立ってみると灯籠が大きく見えてきますので、写真よりもインパクトが出ます。
- ・灯籠を中間柱につけると装飾過多になるため、恐らく武田五一は、森とのバランスを考えて中間柱に灯籠ではなく、高さのないシンプルなものしか敢えてつけなかったと思います。
- ・賀茂大橋の場合は橋をシンプルにしている、河合橋は親柱に照明と高欄を華やかな装飾的なデザイン、すなわち、神社建築と同じ様にした。一方、中間部分は森と重なりやすいように照明はつけずに低く小さな柱のみにしたと考えると、C案が武田のデザインを維持し、森とのバランスも良いのではないかと事務局に提案させていただきました。
- ・灯籠の屋根が上に突き出してしまうと、森との関係を考慮するとうるさくなってしまいます。夜の風景は光で繋がりますが、昼間の風景で考えると森との重なりを邪魔してしまうと思います。

(議長)

- ・親柱と同じ灯籠ということでしたが、少し小さいものですね。

(事務局)

- ・中間柱の柱自身が小さいので小さくなります。

(委員)

- ・武田五一の設計思想は、できるだけ維持した方がいいと思います。

(委員)

- ・C案は、白っぽいものが乗るのでしょうか。

(委員)

- ・照明部分は、現在の溝に入るようにかなり薄くした方が良くと思います。

(委員)

- ・神社にこだわるつもりはないのですが、出町橋から神社に行く橋の欄干に行灯というか、灯明というか、灯りでずっと誘導していくという雰囲気があって良いのではないかと思います。むしろ無いのがなぜなのかと思っていました。サイズは小さくても良いので、B案が良いと思います。

- ・C案は上に何もないので、光を余程落とさないと周囲が明るくなってハレーションを起こす気がします。

(委員)

- ・C案は照明の上に乗っていないのでしょうか。今の形状で少し照明部分を上げるだけだと思いますが。

(事務局)

- ・上は蓋をして、全体ではなく側面だけとなります。

(委員)

- ・何で蓋をするのでしょうか。

(事務局)

- ・鉄になると思います。

(委員)

- ・足を明るくするというのは、そんなに悪い発想ではないと思います。下鴨神社はそういう観点では少ないです。他の神社は灯籠がもっと多いです。

- ・どちらでもいいのですが、神社の参道というなら灯籠をつけた方がいいのではないのでしょうか。

(議長)

- ・中間柱の灯籠の立ち上がりが資料では、立ち上がりすぎではないのでしょうか。

(委員)

- ・灯籠の屋根のそりの勾配をきれいに見せようと思うと、ある程度の高さが必要です。

(議長)

- ・それもそうですが、ちょっと大きく描き過ぎではないかと思います。目立ち過ぎではないでしょうか。

(委員)

- ・現実には、この写真よりむしろ大きく感じると思います。写真では小さく見えます。現実には視野が広がりますから、どう立ち上げても後の森に対しては、灯籠が立ち上がって見える印象となります。

- ・川の方から見たらそうでもないと思いますが、出町柳の方から見ると森との借景を考えた時に距離が短いのにうるさい感じになると思います。本来、中間部は何もなくて今のままでも良いと思いますが、光をつなげるというコンセプトを取り入れると、大きく形状を変えずに少しだけ光を入れるC案が良いのではと思います。

(委員)

- ・C 案のイメージがもう一つ湧かないのですが、元々の高さと変わらないのでしょうか。

(事務局)

- ・元々の高さは変えていません。A 案の石一個分を照明に変えたイメージです。

(委員)

- ・C 案が委員のイメージと相違があるかもしれませんが、少し上に尖ったふたが付くという感じでしょうか。

(議長)

- ・神社の参道ということからすれば、灯籠が並んでいても良いのではないかと思います。

(委員)

- ・神社の建築物は、社殿建築が 800 年代位に出てきます。その前は森が原形で古神道のイメージで岩倉とか樹木が神社の原点です。社殿建築の中の手摺が欄干のモチーフです。

- ・橋も元々はそういう部分が出てきていますが、このような武田の装飾的な灯籠が参道に長く繋がっている所は実際にはありません。灯籠だけでなく、欄干と手摺が一体的に繋がっています。この特殊性はそこにあります。欄干のプロポーシオンは同じですが、神社建築のスケールよりは大き目で、灯籠は両端の親柱にのみ特徴があります。

(議長)

- ・それは高欄の話でしょう。

(委員)

- ・高欄と照明も含めての話です。照明が出てくるのは、神社の参道の中で鳥居の手前にあって、続いて大きな柱があって小さなものが部分的にはある。大きな灯籠が参道の中に続いて行くイメージではありません。

(議長)

- ・そういう参道という意味ではなくて、入口だという意味ですね。写真を撮った時でも、そういう物がある方が神社ですよという印象は強いと思います。これでは写真を撮っても一体どこの橋なのか判らないし、灯籠がついていると神社の橋だというイメージ、定着度が高いと思います。例えば、テレビで京都の映像を色々と見てみると、灯籠や擬宝珠越しに川を撮っています。それがあつてということが、京都の橋の一つのシンボルではないかと思います。神社への入口の橋という意味では、それがあつても良いのでは無いかと思います。

(委員)

- ・灯りがないと寂しいというか、夜間が明るくないと目印にもならない。あまりデコラティブになる必要もありませんが、確かに写真撮影を考えると欄干や山を映しこむこともあります。C 案は根拠がないと感じます。

- ・B 案は金閣寺をイメージしているということで、気に入らないなら少し変えても良いと思います。B 案の折衷案を考えても良いと思います。A 案はちょっと寂しすぎます。

(議長)

- ・高野橋は、非常に小さな灯籠を付けているのではなかったでしょうか。折衷案という意味では、形を小さくして付ける。

(委員)

- ・16 ページの灯籠が両端だけでは寂しすぎますよね。

(委員)

- ・武田五一があえて付けなかったのは、主役は森なのです。森の風景、シルエットをきれいに见せる。橋はあくまでも脇役に廻って下さいということだと思って、このデザインにあえてされています。賀茂大橋はもっとシンプルで、欄干は何もデザインしていない縦棧の形で、そこから森を見ると上に乗っている借景の舞台のような感じになっています。風景の中の何を主役にするかということだと思います。糺の森の風景を一番きれいに见せるための橋の役割というものがあると思います。昼間の写真で、森のシルエットが大きく向こうまで見えている訳です。上から見ると、森のシルエットが大きく見えて、それが主役になっている。森をきれいに见せるためにあえて、抑えて静かにさせたのが武田五一設計のデザインのポイントだと思います。それを継承しようとする、むしろ本当は A 案の方が良いと思いますが、灯りが寂しいということで武田五一の賑やかな荘厳のデザインにライトを足し合わせた折衷案的な物が C 案となります。C 案は思い切って結構デザインを変えているのではないかと思います。橋に対しては寂しいですが、森の風景がものすごくきれいなので。

(委員)

- ・今度作るのは、一直線ではなくて岸の方が少し広がっています。橋の両袂の位置が昔と違います。

(委員)

- ・拡幅することによって、出町柳側の視点場の位置はそんなに変わりません。

(委員)

- ・角度が変わるところ、曲がる所に本当は欲しいですね。そこだけ中途半端に置く訳にはいかないから他にも欲しいと思っています。

(議長)

- ・渡月橋を見ると中間柱もなく高欄が連続していて、川崎委員が言うように後ろの山との対比が綺麗だと思いますが、この場合は、森が近いので違和感はないかと思います。神社の雰囲気を出す、神社のお出迎えという意味合いでは、そういうものがあって良いのではないかと思います。
- ・ずっと、中間柱に灯籠がないなと思い続けて来た。大きさは親柱のものよりもずっと小さいもので良いので灯籠を付けてはどうか。
- ・高野橋にはかなり小さな、中間柱に可愛い行灯みたいな灯籠が付いています。

(事務局)

- ・右上が高野橋の側面を写した写真です。

(委員)

- ・橋の始まりと終わりに灯籠があるんですね。

(議長)

- ・委員がおっしゃる視点場というのは、どこでしょうか。

(委員)

- ・21 ページの写真は、低い位置から撮られたもので、もっと高い位置、道路の高さを考えています。出町柳の駅、バス停の周辺であればこの様な見え方はなくて、対岸も全部見えてしまいますので、燈籠の 8 つが全部視野に入ってきて、しかもこの構図より大きく見え、大きな森のシルエットに 8 つが一度に見

えてきてしまいます。神社の参道で真っ直ぐ直線的に数多くきれいに並んでいたらパースペクティブとして美しいのですが、斜めから違う間隔で見えたりしますので、結構燈籠が目立ってしまうように感じます。橋の幅が2車線で狭いため、両側の灯籠が重なって見え、多すぎるという感じです。賀茂大橋のように橋の幅が広く、かつ橋長が長ければ鴨川が綺麗なのですが、河合橋では灯籠が重なる印象が予測できます。一度確認した方が良いかもしれません。

(委員)

・大きすぎるという印象なのでしょうか。

(議長)

・本当にサイズ比は合っていますでしょうか。親柱と一緒に大きくなっていませんか。サイズを間違っていないでしょうか。荘厳する、飾り立てるといふか、神社の道という事からすれば、しっかり飾り立てた方が、来た人が神社に参る橋であるという事の為には、その方がいいのではないかと思います。委員は、橋を通らない、むしろ下流からの森の為の事を仰っています。ちょっと視点が違います。

(委員)

・森が主です。光が多過ぎる、防護柵に照明をしますその上に燈籠照明をプラスするのは、かなり光量が多いのではないのでしょうか。大文字の時にかなり明るいのではないかという気がしますし、眺望景観という意味でもかなり光が多いように感じます。

(議長)

・大文字の時は光を落とせば良いのですが、賀茂大橋の灯籠の列とずっと三角州を囲む形で提灯が順番に付いているイメージを、夜に通るたびに「そうした方がいいだろうな」と思っています。

・そう思い続けているのです。スパンは、賀茂大橋よりも同じか長い位だと思います。

(委員)

・出町柳から橋を渡る時は、森が暗いのでライトが目立ちます。下鴨から出町柳へ行く時は、駅が明るくて煌々としていて、ライトが非常に弱くなりますね。今は川から見ていますが、両側から見た時に印象が違いますね。

(委員)

・照度的には、道路照明も手前にありますので、かなり明るくなると思います。全体に見通しは非常に明るいですね。

(委員)

・事故予防でなく、飾りの照明ですよ。これだけを見ていると、真っ暗なので灯りが欲しいように思いますが、下鴨に向かう方は確かに暗いですが、京阪の方に行くときはバックがすごく明るい。半分好きになるので、デザイナーの人に判断して貰った方が良いかもしれません。

(委員)

・橋を歩く時の楽しみとしては、灯籠があった方がいいと思います。C案で一つだけ気になるのは、鉄が乗るという事ですので叩いてみたくなります。防犯的にどうなのでしょう、夜に叩いてしまいそうな気がしています。例えば石を乗せるとか、そうするともう少し変わると思います。防犯的に非常に心配です。

(委員)

・現状の石が乗っているものに、少しだけガラスが入るイメージで考えて頂くと安全だと思います。そんなにたくさん要らないと思います。2〜3cmで、ほんのちょっとだけガラスがあつて光が出れば結構明るい

で、光の線がずっと入るだけできれいじゃないかなと思います。プラスチックの器だけだと、確かに危ないと思います。

(事務局)

・色々とお意見を頂きました。上からの写真が無いということ、灯籠が大きく見えているという事もありますので、委員がおっしゃっている極力目立たなくて、後ろの森がしっかり見えるという視点と神社として認識出来るものについて、少し考えさせて頂きたいと思います。設計に反映する前に、各委員の皆様方に見て頂いて、その上でどうするか考えたいと思います。事務局で預からせて頂くわけにはいかないでしょうか。

(議長)

・視点場が判りませんし、委員がおっしゃった様に重なって見えると森の借景を邪魔するのか、通った時に灯籠がきれいに見えて良いのか、データ不足というか資料も無いので積み残します。

(委員)

・河合橋だけ見た時には分からないでしょうが、賀茂大橋から眺めた時に出町橋とのバランスを考えた方がいいと思います。出町橋は比較的にスレンダーな印象です。ブラケットも灯籠もついていません。河合橋はブラケットも付いているし、灯籠はこれからの検討ですが、その時に二つの橋のバランスも一緒に検討した方が良くないと思います。

(議長)

・出町橋は安普請の本当に寂しくなる橋です。何とかして欲しいと思っています。あれに合わせるというのはちょっとね。出来たら歩道も広げてブラケットも付けて欲しいと思います。

(委員)

・バランスです。

(委員)

・中間柱の灯籠について、灯籠は橋の始めと終わりにあるというイメージがぴったり来るような気がします。中間柱にはC案のような灯りのためにある方が良くないと思います。灯籠が幾つもあるよりも。

(議長)

・賀茂大橋は幾つもあります。

(委員)

・それはきっと道路自体の幅が広いので、灯籠があっても相応しい形になっていると思いますが、河合橋は可愛い橋なので、橋を渡る時と橋が終わった時に灯籠があるイメージが良いかなと思いました。

(議長)

・もう少し正確なパースと視点を変えたパース、あるいは神社へ行くパースを作成して、検討させて頂きたいと思います。

(事務局)

・設計の前の段階で委員の皆様には見て頂きたいと思います。今頂いた御意見が全部完璧に入るかどうかはわかりませんが、努力させて頂きたいと思います。

○橋桁の塗装について

【事務局より、資料を用いて説明】

(議長)

- ・24 ページの賀茂大橋(写真)の塗装色は明るいですが、実際に塗られている色は黒い様に感じます。あの色で良いのかなと思います。非常に暗く見えますね。

(委員)

- ・賀茂大橋の時に現場で色を塗りまして、グレーベージュかグレー系、もう少し明るい色の3～4色を現場に塗りました。地元の皆さんのご意見では、河合橋の色と合わせたい、ベージュではなくグレー系にしたいということで、試し塗りではもう少し明るい色の N7 とか 8 位にされていたのですが、少し落として N5 や 4 の少し暗めとしています。現況の河合橋はグレーベージュとの説明でしたが、元々はグレー系の色を塗っていたのが、年数と共に色が日光の影響等で飛んでしまって、明るくなって現状のグレーベージュになっていった。最初に塗る色は何年かして褪色する事を考慮して選ぶ必要があります。賀茂大橋は将来的に河合橋の様なイメージ、暗く塗っておけば段々明るくなってきますので、何年か経てば今の河合橋になります。色はかなり変化しますので。塗り替えのスパンは 20～30 年ということです。

(議長)

- ・今の(賀茂大橋)は、暗い感じの色味に見えますね。(資料に)写っているのは良い色だと思います。下塗りかと思って見ていました。変わっていくのであればいいと思います。

(委員)

- ・鉄の錆が必ず出てきてしまいます。ダークブラウンは、その錆の色も見えなくなるので汚れを隠してしまう様な色です。

(議長)

- ・橋では伝統的に使われて来た色で、目的は錆が見えにくい、あるいは錆止めの橋脚、無塗装でも錆びない鉄鋼の色で伝統的に使われて来ました。ちょっと近代的ではないというか、軽快な感じではないので、時代的に無理かなと思わない事はないです。今の河合橋の色は、昔としては随分ハイカラな色だったと思います。モダンな感じを出す色を使っていたと思います。

(委員)

- ・出町橋を将来、架け替える事になるかどうかはわかりませんが、現状はあまり出町橋の色と合わないという体感がなくなります。ですから 2 番目のグレーベージュであれば、そこそこ揃うのではないのでしょうか。

(議長)

- ・確かに、出町橋とあまり違う色を使うと、変わった感じになり過ぎるという事でしょうね。

(委員)

- ・ブラケットの検討を折角しているのに、真っ暗になってしまうと意味がないと思いますので、A 案か B 案かなというのが私の意見です。塗り立ての色とその後、色が変わると言われてもなかなかイメージがつかないので、最終的にどの色に落ち着くかというところで議論をして、色の変わり方は専門家に任せるとして、最終的に落ち着く色としてはどの色がいいかという点で話をした方がいいと思います。そういう意味でも、現状の河合橋に近い色に最終的に落ち着く色というのが、特に現状に不満がある訳でもないのに、ブラケットがきれいに見えると言うこともあるので、そこに向かう色にするというのが個人的な意見です。

(議長)

- ・試し塗りをして頂きたいと思います。出町橋、河合橋が同じ色であるので、それに近い色という事でよろしいでしょうか。

(委員)

- ・今おっしゃった通りで、30年塗り替えない事を考慮すると、A案の賀茂大橋と同様にN4や5という暗いグレーで塗るので問題ないと思います。B案のグレーベージュ系にしますと、土の色、アースカラーと呼ばれるものでこれも一案ですが、将来的には明るくなりますのでこれを選択するとかなり茶色っぽくしてはいけません。B案でもA案でもいけますが、今の河合橋を目標値にするならばA案となります。

(委員)

- ・何年くらいで塗り替えますか。

(事務局)

- ・30～40年位です。

(議長)

- ・ペンキの質も良くなってきて、寿命もかなり長くはなっています。現状に近い色で試し塗りをし、比較して最終は決めて下さい。

○橋詰めについて

【事務局より、資料を用いて説明】

(議長)

- ・コーナーが車の死角になります。左岸側の下流側はバスが来ますので、それが死角になる。死角になって人の安全が護られない様では困りますので、そういう点を十分に配慮して貰いたいと思います。車止めはバスからも判りやすい様に。特に夜は光る様にするなど、注意して貰わないと、運転しにくいのではないのでしょうか。一本だけではそれにぶつかる可能性もありますね。

(委員)

- ・車から見たらA案が良いと思います。B案は夜に見えないかと思います。

(委員)

- ・車止めは一本だけでしょか。2つ3つあったらどうでしょう。

(事務局)

- ・写真の左側は自転車の走行帯で、その先には横断防止柵があります。

(委員)

- ・30ページについては、すごく通りやすくなると思います。少し気になるのが、この太いブロックの所です。ここまで細い線で来たのに、どうしてここで太いブロックに変わるのかなと思います。前回の案ではこのままズドンと太い線でした。途中まではすっきりしていますが、一番ゴチャゴチャする端部が、またゴチャゴチャしていると感じます。この部分も同じ感じに見える様になればいいですが、段差がついていて手摺の根元を埋める必要があるのでは嵩上げをしているのかもしれませんが、ここがガタガタしている事だけで価値を下げているように感じます。もう少し工夫して欲しいというのが希望です。

(委員)

- ・視覚障害の方も渡ることを考慮すると、段差があるのは危険だと感じます。

(事務局)

- ・再検討させていただきます。

(委員)

- ・隅の高欄と舗装部の整いにくい部分の収め方も考慮してください。北大路橋の場合は小さな石を取って両側に据えたのはそういう理由です。可能であれば併せて検討をお願い致します。京都府で鴨川公園の整備委員会が進んでいるのですが、どこに横断歩道がついて、鴨川公園を通して頂ける様にするのか、その辺りの動線によって自転車道、自転車をどう誘導するのかと言う事にも係わってきますので、どういう動線にするのか調整も含めてお願い致します。

(事務局)

- ・調整して進めてまいります。

(3) 全体デザインの調和について

【事務局より、資料を用いて説明】

(議長)

- ・デザイン・コンセプトに基づいて、各要素の検討を進めてきました。全体を通して、ご意見がありましたらお願い致します。

(委員)

- ・デザイン・コンセプトについて、2 ページにデザイン・コンセプトキーワードが具体的に出ています。最後のデザインの選定で結果的に選ばれたもの、そうでないものがありますが、まだプラスアルファ出来るのではないかと思いますので、2 頁との整合性、リライトの可能性もあると思います。

(委員)

- ・デザインの調和、デザイン・コンセプトの確認というのは、この会議において非常に大事だと思っています。デザイン・コンセプトを先ず決めて、その中で選ばれたものが、なぜ選ぶにふさわしかったのかと言うことをきちんと説明しておくことが大事だと思います。その意味で、今現在はこういう書きぶりになっていますが、「ふさわしい」「調和を図る」という言葉はマジックワードみたいなもので、なぜ選ばれたものが調和されているのか、もう一步書いて欲しいと思います。色味にしても、それぞれに理由があって、一つに選んだその理由をもう一步踏み込んで書いて頂けると、議論をした結果がなぜ反映されて、反映された結果がなぜ妥当なのかというところを改めてデザイン・コンセプトに振り返って照らし合わせて、納得出来るものになると思います。なかなかちょっと大変な作業になりますが、もう一步踏み込んで頂ければ、授業で使いたくなる様な資料になると思いますので宜しくお願い致します。

(議長)

- ・大変長い間ご協力頂きましてありがとうございました。全てではありませんが、大半のことは決めることが出来ました。一つのパブリックオピニオンを元にして公共事業をやっていく事の見本になる様な手法、進め方ではなかったかと思います。

3. 閉会

(1) 閉会の挨拶

- ・議長をお願いいたしました家村先生はじめ、委員の皆様方には、全3回にわたりまして活発な御議論を頂き、貴重なご意見、ご指摘を頂いたことに対しまして、事務局一同心より御礼申し上げます。頂いたご意見、ご指摘には、制約はありますが最大限の努力をいたしまして設計に反映したいと思います。もし、お気づきの点がございましたら、事務局の方にご一報いただければ幸いです。

- ・今日は、宿題も頂いておりますので、このことにつきましては委員の皆様につきっきりとお返しをしたいと思っております。また、デザインコンセプトと各部材デザインの関連性の確認につきましては、リライトの御ご意見も頂きましたので、出来るだけご期待に応えるようにしていきたいと思っております。
- ・河合橋の工事につきましては、出来るだけ早期に行いと考えており、その手続きを進めているところです。工事中につきましては、橋のご利用の皆様、とりわけ地元の皆様にご不便、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、その点につきましてご理解、ご協力いただけたら幸いです。
- ・橋の工事に関わる職員には、地元の皆様に愛着をもってもらえる橋になるような仕事をしてほしいと常に話しております。構造計算上、問題無く工事ができたら良いというだけではなく、その橋を生活の一部としてご利用いただいている皆様に我が橋と思っていただき、大事にしていられる橋を作ることが大事だと話しています。
- ・デザイン検討会議については、このような点も含めた仕事と考えております。河合橋につきましては、皆様と行政の共同作品ということで、皆様には我が橋と思っていただければ幸いです。愛着を持っていられる橋につきましては、地元の皆様に見守られ、美しさが続くものだと考えております。大袈裟かもしれませんが、それが文化の根になると私共は考えています。
- ・一つお願いがございまして、河合橋も含めました道路、公園、河川に変状をお気づきになられましたら、リーフレットに記載しています土木事務所への電話や、スマートフォンであれば「みつけ隊」のアプリでご連絡いただけたら幸いです。皆様のご連絡が細やかな維持管理、安全管理につながりますので、何卒よろしくお願いいたします。
- ・今後とも、ご支援、ご指導頂きますよう、よろしくお願いいたします。

(以 上)